



コロナウイルス。変異株も現れて感染力が増々強まる勢いで悩ましいです。ウイルスは変異したら必ず強くなるということではなく、弱いほうに変異することもあります。人間にとって悪影響になるものが強くなるということになります。

厚生労働省の発表をみると、2020年6月以降の統計では重症化の割合は約1.6% (50代以下0.3%、60代以上8.5%) 死亡する割合は約1.0% (50代以下0.06%、60代以上5.7%) となっています。

統計を見る限りほとんどは軽症者ですが、自宅療養している間に重症化して入院先が見つからずに亡くなるということが問題だと思います。

感染がわかった時点で、悪化する可能性を考えて治療を始められるようにすることで、重症化も死亡者ももっと少なくなるのではないのでしょうか。



漢方薬を利用しましょう



漢方薬の利点は副作用が少なく長い歴史が安全を保障するので安心して使えます。

感染してから対処するより感染予防でお茶のようにのむともしっかり効果的です。

インフルエンザの予防に**板藍根**をおすすめしていますが、金銀花、薄荷、藿香、黄耆、防風などの生薬を煎じてお茶代わりに飲むといいですね。

虚弱体質、疲労倦怠感、寝汗などに効果がある「**衛益顆粒**」は黄耆、白朮、防風の生薬が体力をつけるので、ウイルスや細菌からからだを守る「**衛気**」をつけます。いわば、体表にバリアを張りめぐらせて邪気の侵入を阻止して、病気になる前に防ぎます。普段から風邪を引きやすいとか、粘膜が弱くてすぐ咽喉が痛くなるというかたにも安心してのんでいただけます。

人参、五味子、麦門冬の3つの生薬で、宗気(胸中の気)を養う「**麦味参**」も体力増強におすすめです。飲む点滴”ともいわれ、虚弱体質、肉体疲労、病中病後、胃腸虚弱、食欲不振、血色不良、冷え性、発育期に子どもから大人までだれでも飲みやすい処方です

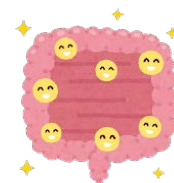


ワクチン接種しても変異株に感染する可能性もありますし、どんなに気をつけても逃げきれないかもしれません。山梨県にもまん延防止法が適用され、自粛生活の中で毎日おうちごはんですから、メニューに悩むと思いますが、野菜や魚もなるべく火を通したものを食べるようにしましょう。

消化器の温度は37度が最適、最強といわれています。

冷たい食べ物や飲み物でおなかを冷やすと、腸免疫力が下がりますし、おなかをこわすと体力低下につながります。

まだ、トンネルの出口が見えない状況ですので、漢方の応用と屋外での適度な運動。そして暖かい食事感染予防をこころがけていきましょう。





化粧水でウイルス対策

北里大学での研究データで実証された



効果と同等の有効成分配合

ハンド・フットケアの下地に



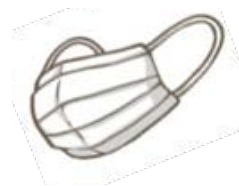
手足のトラブル事前回避をサポート

ノンアルコールだからお肌の弱い方でも安心

手・肌にとっぷり使って日常的な予防に！



マスクの内側にシュツ



気になる口臭・ムレ・予防とリフレッシュに

赤み・かぶれ・かゆみ などの肌トラブルケアに

安心して毎日使える化粧水

静スプレー

1500円